くすりのしおり

内服剤

2022年11月改訂

|  |
| --- |
| 薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。 |
| **製品名:ツートラム錠25mg****主成分:**トラマドール塩酸塩(Tramadol hydrochloride)**剤形:**白色の錠剤、直径7.6mm、厚さ4.3mm**シート記載など:**（表）持続性鎮痛剤、ツートラム錠25mg、早く溶ける速溶層付き（裏）Twotram tab. 25mg、持続性鎮痛剤、ツートラム25mg、早く溶ける速溶層付き |  |
| **この薬の作用と効果について**オピオイド受容体への結合、モノアミン再取り込み阻害作用により強い痛みを抑える働きがあります。通常、非オピオイド鎮痛剤で治療困難ながん疼痛、慢性疼痛の治療に用いられます。 |
| **次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。**・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。アルコール、睡眠剤、鎮痛剤、オピオイド鎮痛剤または向精神薬による急性中毒である。治療により十分な管理がされていないてんかんがある。腎障害または肝障害がある。2週間以内に他の薬を使った。・妊娠または授乳中・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。 |
| **用法・用量（この薬の使い方）**・**あなたの用法・用量は((**:医療担当者記入**))**・通常、成人は主成分として1回50～150mgを1日2回服用します。症状により適宜増減されますが、最高量は1回200mg、1日400mgを超えません。本剤は1錠中に主成分25mgを含有します。必ず指示された服用方法に従ってください。・この薬は徐放性製剤なので、がん疼痛で痛みが突然強くなった場合の臨時追加としては服用できません。臨時追加が必要な場合はトラマドール塩酸塩即放性製剤を服用します。・この薬は徐放性製剤なので、割ったり、砕いたり、かみ砕いたりせずに服用してください。・飲み忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く飲んでください。ただし、次の通常飲む時間が近い場合は、忘れた分は飲まないで1回分を飛ばしてください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。・医師の指示なしに、飲むのを止めないでください。 |
| **生活上の注意**・眠気、めまい、意識消失が起こることがありますので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作は避けてください。意識消失により自動車事故を起こした例も報告されています。・飲酒により薬の作用が強くあらわれ、呼吸抑制が起こることがあります。服用中の飲酒は避けるよう十分注意してください。 |
| **この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）**主な副作用として、吐き気、便秘、嘔吐、食欲減退、傾眠、浮動性めまい、口渇などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。**まれに下記のような症状があらわれ、[　]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。****このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。**・息苦しい、蕁麻疹、意識がもうろうとする [ショック、アナフィラキシー]・呼吸が浅く、ゆっくりになる [呼吸抑制]・けいれん [痙攣]・この薬の使用を中止しようとしてもやめられずに使用を続けたくなる [依存性]・意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する [意識消失]**以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。** |
| **保管方法 その他**・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。 |
| **医療担当者記入欄** 　　　　　　　　年　　　月　　　日 |

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。